



□後期スタート

転入生33名を迎え、後期の授業がスタートしました。
約7週間ぶりの授業再開です。

この補習授業校に通う子供たちは、普段は月曜日から金曜日まで現地の学校に通っています。もちろん授業は英語オンリー。土曜日だけが日本語で日本の学習をし、日本語で話せる友達がいるということで、通学を楽しみにしている子供たちが多いようです。

現地校はまだ夏休み中で、日本に帰国している子供たちも多く、8月いっぱいまでは出席率は65%前後です。

ちなみに・・・補習授業校では、**始業式・終業式はありません**。また、2学期制のため通知表は9月末に渡します。



日本から後期教科書が届きました。学級ごとに仕分けして、土曜日に運ぶのも私たちの仕事です。

□幼児部夏祭り

幼児部恒例の「夏祭り」が行われました。素晴らしい天気の中、中庭に集まった子供たちは四色の色鮮やかなハッピーを身に着け、始まる前から大興奮。最初に盆踊り「ソーラン節」の曲に合わせて、元気いっぱい踊る様子はとてもかわいらしいものでした。

次にお神輿をグループごとに担ぎ、やぐらの周りをワッショイ・ワッショイと練り歩きました。

その後は場所を移して「縁日」体験。

「金魚すくい」「的当て」「おばけやしき」「ヨーヨー釣り」「お楽しみ会」を楽しみました。どのコーナーも子供たちの歓声でいっぱい。

NJ補習校の夏の風物詩、夏祭り。子供たちにとっては夏の最後の思い出となったようでした。



□幼児部親子遠足

幼児部の親子遠足が学校の近くのVan Saun Park (ヴァンサンパーク)で行われました。

約70名のお父さん、お母さんが参加。さっそく「エビカニクス」のダンスを準備運動にして、ミニ運動会が始まりました。

「親子ボール運び」「障害物競走」「フラフープ渡し」「よさこいソーラン」「クラス対抗綱引き」など大いに盛り上がりました。お友達の家族と一緒に弁当を食べ、その後親子で動物園内を散策。帰りの車の中では、一日を振り返って会話が弾んだことと思います。



アメリカのお父さん方は、いろいろなイベントに参加してくれます。とても協力的です。

□標準学力検査・日本漢字能力検定

初等部2年生から高等部2年生まで，放課後を利用して標準学力検査（国語・算数，数学）を実施しました。普段は現地校に通っているのですが，国内の同学年の児童生徒と比べてハンディがあると思いますが，敢えて挑戦するという高い意欲をもっています。

また，本校では，日本漢字能力検定試験の準会場校として年3回漢検を実施しています。週1回の授業では，国語で学ぶ漢字も限られてきます。しかし，毎日の宿題などを通して子供たちは必至で漢字を覚えます。

学力検査も漢字検定も希望者による受験ですが，毎回50名前後の児童生徒が受験しています。



□クラブ活動再開

「茶の湯クラブ」

粘土を使って茶碗作りに挑戦しました。

ろくろの上にゴロンとした丸い粘土のかたまりを載せ，これを一人一人が自分の手で，茶碗という器へと生まれ変わらせるのです！

まず，両手を使って茶碗の形を作り，ろくろをゆっくり回しながら形を整えていきました。形を整えるのが一苦勞。それでも大小それぞれの茶碗ができました。



「空手教室」

この日は，2015年世界空手道選手権の日本代表だった大下郁真（広島県出身）選手も参加してくださいました。参加した子供たちや保護者の方々は，柔軟運動，空手の呼吸法，体幹トレーニングを行い，よい汗をかいていました。

「書道クラブ」

久々の活動に子供たちは真剣そのもの。

「うし」「月」「元気」「火山」など学年にあった文字を，手本を基に丁寧に練習していました。勢いのある習字に仕上がりました。

子供たちは，勉強が終わった放課後に，日本の伝統文化に親しんでいます。



クラブは，放課後2時40分から行われます。指導者は，外部の講師で，担任は一切かかりません。とりまとめと教室や体育館の確保は，補習校事務所の教務が窓口になって行っています。ここが日本と大きく違うところです。